要塞計畫

對佛戦略を目的に

明、協議に移った、なほ京城府か

ら説野衛生課長が出席した

剛小、天岸衛生親長は道の案を説 合簡を行つた、佐伯醫原部長から 間一齊に行ふ結核度防計盛宣傳打 生主任を指数五月十六日から三日 吸府内六名。仁川、関城朝著の衛

徳道書祭部では廿日午前十時京 京畿衛生主任會議

リシャは従来のトルコとの友好を行つたと公式に通道した。ギャコ軍が海峡非武陸电帯に進駐トルコはギリシャ政府に對しト

てゐる、但し當地一部には早くてゐる、但し當地一部には早後北京的意思表示に對しては別長近議的意思表示

各國軍備の實情及び

思想的動向等調查

軍縮課を調査部第五課に復歸

能において正式配合されることとなっ

田 清

| 北海道接官へ監鞭に内定した池田|
| 北海道接官へ監鞭に内定した池田|
| 大阪のでもに譲る

で果し得るかどうか。正式の程(庶以来五ヶ年、口よりも質行とい)電影との認識を疑も実践に保ちる。 資勇非關立の遊館を来き上げ内鮮な見か、正式の程(庶以来五ヶ年、口よりも関布)には、次宮殿下を迎へ奉り集重書(は方方面から大いに聞まれてゐるはあり得ない。こと 「在「當つた」、整築中報道の模蔵。 には、次宮殿下を迎へ奉り集重書(お方面から大いに聞まれてゐるはあり得ない。と何もお話は出来以、ふ言念を以て全影声変の響力の事業後(教験だも異べず、且昨年諸南護書)なる実践を経してをり今回の勝出はあり得ない。と何もお話は出来以、ふ言念を以て全影声変の響力を表し、古野の大きな事件が半陽神変上に「解釈の勢力と実に全影聴感に偉大な日本の場合とうか。正式の程(成以来五ヶ年、口よりも質行とい)電影との認識を疑も異説に保ちる。 資勇非關立の遊覧を実き上げ内鮮なり

"月香香料",1800年11月11日,1900年11月1日,1900年11月1日,1900年11月1日,1900年11月1日,1900年11月1日,1900年11月1日,

和六年六月内弥省神戦局長から者。立つて海蛇、一方端批事整以来は、春緑紫神の作典、綱紀画正から武命局長は宇垣悪膏の銀雲により昭。高まる野村振興連動に本第十織に「長の心臨から夢さ吐る力の質得は、心器追長武に繋撃内定した部田書」の御瞭立を完成した、甄に宇脇に「五雲に班継を建してある、池田局

(代) 安井戦 質局長、大作平北知事 り扱 湿のはずで田中外事派長(鶫)はず 場合の整然局長後任は絶質所内よ

池田局長語る

他田繁発局長の北海道長官製住の一が有力と見られこの。前元として

務省保安派長相川勝六氏が来野

部内から拔擢

Œ

任北海道長官 (w

ことに内定し、二十日朝鮮總督府側の窓解を得たので二十一日の証[東京常語] 北海池長官後任に池田朝鮮總督府繁が局長を起用する

池田警務局長は

北海道長官に榮轉

あすの閣議で正式發令を見

依願免本官

警務局長後任

一後七時より九時半まで内担官邸において圏内村、陽澤次官の間 内地師還がこの際實現することとなり、十九日

局長池田清氏(元内務省神社局長)の

て協議を重ねたが大概左の如く能衡範疇を内定、二十一

間臓に附腕すること、なつた、なほ歯洲國鵬館の人事は重部方

整務部長は北海道の部務、土木朝部長の何れかに、 回は異動せざることに決定、相川保安部長は朝鮮に、 なは知事機出の報の高かった内務省解辨は届長は後任難のため今

見開部長は一人は知事に、一人はハルビン特別公智器が臨民の

四道長官・横山東京、艦屋熊本の南知事及び池田町が避れるため緑原後に帯越させる東定である。

田三郎氏に對して本日左の如き翻 海軍法務官として令名高かつ 過等軍法會議法務官

日蘇戦ひを好まず 極東の底流は平穏

フランスの輿論をの 國間の現在の緊迫狀態は日本政府の

興には、圏黒々と、

太如這所越毀而人

迫をどう見るかは非常に興味あるところであるが近週の佛歌 よって同國の興論の一端を左に紹介する 東京電話】俳節援助群約節約後十退法の對蘇クレデットを 、蘇聯へ軍馬品を敷込みつくあるプラシスが日蘇關係の緊

とは日産南國自身互びに熟知してゐることと思ふ、有とものであるとしても、結局相互に刊戈を交ゆる必要のな

し版近日顕南國の後近が得へられたが、この報道もどうとは日蘇南國自身互びに熟知してゐることと思い。右と

歴睡ものであるらしい。 蘇聯政府が日本と戦ふことになれ

蘇戦政府雄に米嶺政府が標東に干渉しないかぎり、日本とどことになり、しかもこのことはドイツの強化を難す、反對に

イッとの接近は進り得ない、しからは地域はどうか、英国政

- ス・ロス氏支那確臨にも描らず、日本に對する刺史

地方長官異動(蠶)內定

相川保安課長、本間警務部長外地轉出

池田警務局長內地

◇京都府知事 鈴太慶島、閩豊麻木の東知事、他田朝朝鮮總督府警務局長の中より能面

、宇宙響が甘戸、五日頃階

鮮總督府警務局長の中より監節

新潟県知事 **棚屋熊本、鈴木羅島、早川座見島の**各類

他田警務局長。薩原愛如縣如事上

定の報に願し今井田政務總監は部 他田野が局長の北海道長官策略

今井田總監談

知縣知事
早川匯児島、齋藤埼玉、鈴木廣島の斉縣

事刷新を期する

っくあるといふものく、國内の歌声組織は遊多の麻鰌に遠音脚せればならず、他方日本も解釈師振師蔵織の職像に祝頼しある、即も離歌談辞は日鮮明報の鬼は智然に國内の寨駒を集ある、即も離談談辞は日鮮明報の鬼は智然に國内の寨駒を集 點に達してゐない、しかし紛争の責任を一方に歸するのは當 関節側定委鼓頭にが人せしめようと要求してあるため解決があるが解析が第三國代表を 3、日本賦府は縦戦影総需初から國籍の軸定を希 ない、日蘇南國共に現在戦争を欲してるないことは事質で てかりその上北支の建設事業を築ってゐる。これ同國共に **南國
を
蛸の
不明
能に
基くと
ころの
富然
の
結果で
あ** 超近日酢園園間で行はれてるる諸種の紛争は崩壊 府は日本政府との副制を求め、フランス政府またイギ

安然たる職争を明治しえざる機構である の軍傭に確廃しつゝあるにも初らず、他方にしてこのことは蘇離或肝が一方において極東 が際へられたが、この報の超時はともかくと

いてその外交政策の中心解訴継が日本ではなくむしろドイ の電価に確定

相互にその提言に好芸的考慮を無ふに至るものと倫する
が、確國共に他に重要な武士の務策を持つてあることが、 戦闘が日本の選班をは职止しようとする事質に至くものであ 激出が日本の選班をは职止しようとする事質に至くものであ

好んで歐洲諸列强間の對立狀態を自國に有利 **能なる風観であらう、しかし日本政府が総近**

> 普房を介して、人々はわつとむら のた。既に添つて来た難、明や生

底流は仮然平穏であらう

リトヴィノッ外務人民委員長の日本訪問既は

後且は総質府部内から採るつ 新聞のが重度ではないかと思まだ公司には接してはゐない

· 营业

同 同 同 同

交後間を動員して徹成ある資料の

選集に努力する方針であるが、 我一

的調査に乗出したことは、 省が富丽の外交問題を離れて基礎

重要なる資料となるので、低外外一置く方針と解される、面して外

避合される知事級の異態に伴小部

大臣官房都市計班課長 心抗管社會局保險部長 川西電

1発省土木局河川悪長 | 本書 | 報嗣 | 示された

共命縣族族部長 吉永 時本神奈川縣整察部長 留園幸里 時委員告示 高等試驗臨

【東京電话】高等試驗臨時委員会 一十日の官職を以つて左の如く監

阿罗瑟斯儿育

が東東土義外交の敗ル上にも重要一極的外交の能立に資する所大なり

動像があるので特に南洋を中心と

する東亜民族の思想調査に重點を

法案通過を樂觀

《戦闘を進めつくあるが、まづ今、するやう努力し、重要なるものにいて感話は目下對戦闘家につき省」らざるものはどし!〈愚眈を進過歌日もいよ/〈覚目の郷に迫つた〉各法律案を提出し、さほど重要な

「東京電話」第六十九回議院の召「議館開館早々、出來るだけ運かに

配物に貼き年現日である。同一一をり、法律級の大部分は前内据に長の手許で各省より提出されたる。神師にも既民開業の支援を受けて 今回の総脂酸劑に職所より農出す資料に基さ作成中である。心して へき法律案は既に決定せるものと 於て胡當雅識されてゐるし、或民 をり、法律家の大部分は前内閣に に裏進せんとする態度に出てゐる

力交來る時節をお待ちなされ

ばならなかつた。

13

たさいけん

れいと、彼人たちへ喜い彼つて、ただが、太夫房祭明だけは、どこだが、太夫房祭明だけは、どこ

うとう願ひを通してしまつた。

したらう?後は

池田警務局長

経館立づき政府大重・新政策 と急ぐべからず、遅人は大 天地玄黄

上は自力抗拒のみと頑張っ、歌 頼りとした職盟が頼りになら

チリー大統領の汎米駆闘結成

アに心配せんでもよいよう 減心

相はいたつてノンキなものでな 希教育に徐念がないが、當の陸 の見解を抑つてゐる。
「然后の武装に対して權利ありと
をおいるモッレー・レフォート
を右トルコの行動に關聯しギリ

の實施に當らしめてるたが既に四(交方針室行上にも重要なる影響を、の思想能動団脈に民族的宗教を置する単編課とし、特に車縮政策(定した、各層車輌の實施は我が外)へしめる方針である。一方各層民 の軍事職能、監禁職遇の調査観察、服察して外交政策変施上の資料を部第五縣に復歸せしめ今後は各國し、外國の軍備狀態を菲細に調査 に當らしめることに大體方針を挟 微すると共に、將來軍縮交渉に備

界等計画を深いし重大御動を捲き日アフリカにおけるトイツ 純単の

希臘に進駐通告

宣出第五編を敗組して帰亞局に臨

レンドン軍語質派に備へるため調 【東京電話】外が省では、昨年來

別段抗議はあるまい

ネ特 置として左の如く報道・

歴はフランス摂竹の神証を刺しし 地壁に引致きドイツの要塞衝梁間 「パリ 十九日同盟」 ラインランド

◆有質種酿運取 二十日午後十時 振つて見せる。 善信は、その誰れ

午後三時京城設上海に出張 の顔に、さまざまなる過去の記憶 に、月曜してゐた、その一つ! (おわかれだ

一切めから、肺の端に人として、一切めから、肺の端に人として、

模

脳のうちに交じつてゐた。 騎馬で、削羅の萬一を備へて、削 伊賀帝庭歴と、朝倉主膳の二人は

> 呼び交す船を座との間は、見らってらば――さらば―― さらば――さらば――。

うろがつてゆく。

て、碳酸の道義能基礎至く崩潰、私職を異へてから、都から違ん出。 エチオ ピアの 見殺しに よつ すり下ろせ。そして、ぞんぶんに が、この朝、既はつてゐたからで ――すると、知出ようとする部があるといふ原闻 まに彼の拒絶がい 無朝な信のうちに、不能な行動に (流即は悪い。善言を途中で引き 、ふのは、歌山の花法師や、

さらいら煽動をしてゐる者があ」「待つてくれり。 から選びついて来た。彼は、後に歴をした生信房が、息を喘つて後 るために、野の列におくれたので

服りあげた。 副をすべつてゆく フノーと腰の選手 口をなぐさめてゐ 神のい ーオ・ウイ

越路

(100)

日野善信 山村 川英治 耕花

作

これからが

畵

や、草摺のひびさや、その人馬の こ、ドミコノダミヤ、その人馬の一くる物は、もう、道路の歩きも、場であた。 歌とし、歌しい鮨の香「道を一寸ぢに離つて麓上の坂にか」香信は、その寒でうせじ様とす 背信は、その戦のうちに揺られ と書いた根が打つてある。 くので、たとつさういる間識があく、七十人と強々人豊が頃してゆるの上にも、鑑んでゆく壁、五十 ったにせよ、手の出せる餘地はま 関節から栗田口 してして街

が子の繋が、まだ後に聞える心地と、心にさけび、さすがに、わ もとから揚がる族につくまれな 民衆は戯然と、服で班を見まるとの間も、人間で坦まつてゐた。

生、 人たちは、 復日をすまして、 引ぶ、 人たちは、 復日をすまして、 引ぶ、 人たちは、 復日をすまして、 引ぶい、 人だちは、 復日をすまして、 引ぶい、 人だちは、 一般に の人 脚れのことばを 変い 壁に出せないので 念師を思はないもの 解を思はないものはなかつた。てゐた。 だが、心のうちでは、 胸のうちでと

黙欄の外へ出ると、そこには、

一胎は帆を腰ゼ

は恋んで服み、多少男へ過ぎ を込みを和らげ、安眠を得せ き込みを和らげ、安眠を得せ を必ず、味が甘いので小兒 も無難なのが特長です。 雅店にあり 一門八十磯 円

縮し、餘病併發の危

験を阻止します。

てからでも、 經過をます、 痙攣期に入つ です、チミツシンを與へがなにより締ろしいもの て下さい、治療にも強防 軽く、治癒日敷を短 早期に輿ふれば、そ にもよく効きます。 行 李

東京・大阪 H 邊商 店 TR 384

蒯 外用薬アラピア 膜

ピアの展布野法が推奨されます。 原敷がある……といふときテラ な微熱、無偿ではあるが頻繁な 変動が突は肋間部の軽痛、強強 これは従来の巴布側の四く補助

し深部病菌の活動を減衰して自力な治療的成分が皮膚より達透 の変素のなるのでありません。 選 づと炎症を消退せしめます。

大飯 H 澎 幮 店

設備破棄を命ず 京城では舊信者五十餘

突如、各署一齊に臨檢す

各道が適宜實施

本所整が局の態度はさる十一日開一になつてある。よつて各三位当場

國師における大本政議部に對する

つてある景域を取除かしめること一大本教信者、昭和神徳信贷らは特

心を刺戟せぬやう

自動信號その他の設備で

おいてそれた〜適當の時期を見て「提示された通り、各当醫祭部に

は各道の事際につき世帯が新など、中代によるの地へ目標けてあるが、一般に然にに刺動。などは大部分内地へ目標けてあるを観へれやうな方法を用からとは、 神様である

すべては自能的に敬を捨て布数師 一大百名以上あつたがこれらの殆ど

一個く電鈴と赤色の明波電が装置を

に解放を命じ各情者の家に祭一留意してゐるな任解散前鮮內には

防犯第一日の鍾路署捕物

部が観意研究を進めてゐる、全線

一日より廿三日まで、三日間 柳原武橋 前南 高展覽會 育場……京城太平通 本社來青閣

たが、今後とも単故は鑑誠するよ 電視局と協力して厳重警告を続し りむしろ増大する類念があるので れが防止のため路切施設を造市

事故の原因

の表述治典院婚姻に於ける

瑞興踏切の

列配に間に合はせるため驀進した。第二軍委員弘("よ)の目標中にぶつ関配に間に合はせるため驀進した。阿二五莊正君("こが版州都護郡面) 避れたので帰興縣謎の泰天行第三。「十九日午後一時半附內香堂前で同

同日沙里に一般的城自島中が時間が

を難いて全治一週间の仮っている。

親子三人組の悪事

ふきかけて全治一週間の資質をご ぎ出してたひらげた後隣艦の脈路 発知した東大門署域は領來内食中 **欧列したビール十三本を無慮で**ひ 町で無鏡飲食を稼いでゐることを 一名が十回路の鉄道をしたは勝り 居温島で肝内基高面制設の青年 九日午後十一時府內孝悌町一

し、動きにまざれて逃亡せんとす 防止を警告す

脱融網の低大學生が京城府内各

偽學生捕る

酸面に沿寮二濃間の製版を資ふたしてなり和泉町九七金際棚でもりは を見念停車したため聚客は將供出 を見念停車したため聚客は將供出 盗み京城下往十里町金澤重

十九日午前七時二十分ごろ成績

脚形の小量が全限し、削退不能の ため属派に引返し四十分の選延を

本場重本場が、第4日沢

の=晩=今 オ ヂ ラ

回

アイスケーム令東機「治谷の流株式會社」

小時お話(東)遠名子兵太▲ ・一様編入時亡〇分藩領(大)吉田貞 ・一様編入時亡〇分藩領(大)吉田貞 ・一様編入時亡〇分藩領(大)吉田貞 ・一様編入時亡〇分藩領(大)吉田貞

迎顧ラデオドラマ河原衛長

の鮮風友曹سに京城寶藏路田鳴魚 獵會の入賞者

管浦以西において開闢左記の通り 劉節は十九日(日曜日)京し線水 龍山加陸岬副は喧倒に依り深る 加藤神祠大祭

新曲 夕焼小焼・煙干計

良三

麗貌を

(派型三枚組入) 以 共量大方衡門

江の島

| 政□▲五寧古賀▲六寧橋▲七等|
田▲二等岩間▲三等島木▲四等 手師等の配しずり密で煙火を打場り小供相撲、午後六時より萬歳 四日午前十一時春季大祭興を興行 を披露し無順係輿には午後三時 毒をのむ 午後一時よりは鄱阳省に神ど

田本二等牧本三等本下本四等進 企て生命を高 日本二等牧本三等本下本四等進 企て生命を高 日本二等牧本三等本下本四等進 企て生命を高

> 簪 の 夜 に好いて好かれて 権があたく

十石 船 道中 女の夏季歌 の別れ明氏宗吾の頃

東那林太雕

足の難を失ひますがたるんで顔や手

赤真な

蝕む便秘

プ雅 L子

ni nit 小型

ララサトル

下側は無人のなる。

古さま人形(強調製物

花が飲つて、こ・に斉定さらも 川中のゆき継が東瓜に飲らす知道の 山中のゆき継が東瓜に飲らす知道の イギでは好を動ひます。

京城明治町一丁目四〇(取引所前)京城明治町一丁目四〇(取引所前)

のぞみ立住生

平壌から臨時列

後山ゆき列車に飛込み朝鮮人男が二十分ころ沙上篭山鉱間で安東羅 飛込自殺 九星衛馬

野氏ら廿一名廿一足2人 全大地商店博名

夕霧伊左衛門

(全国際店に有り)

五郎・雪江 パラは何故赤い 一室 出一番 チジャズ選ぎ 女心を離か知る 飯 田鰈子

ピアの協奏曲 第五皇帝

湖 唱 転の際堂・エリザベートの祈り 年年第ヒアワザ・数の 製兵 式 朝歌園 イル・トログアートレ

| 女典 ゴールドン・ソナタ ディックボーエル 挽唱

前賣を開始

ふのは來趣の兩軍が仇敵同志であ一記録的な延長、支後を越した半島 討道中双六は本社の金でによつ 江戸の敵を長崎での仇

新先を捕へ て大日夜 一

D

夫々母地を出館した、既に空海を

は沸き返ってゐる。更に興味とい

| 「一方成らは果して如何なる間道から | にはガッチリと阪金電線の巨大で、する的人気のために左記の場所で | 三越連動兵器、プレイガイド | 「一が成らは果して如何なる間道から | にはガッチリと阪金電線の巨大で、する的人気のために左記の場所で | 三越連動兵器、三中共運動兵部

|選が町),カクエス 運動具店

劃期的大球戦日近づく

を離に刑夷子の他に二人の若い女 を手にかけ三人とも松月町自宅の 途に龍山客に揃はれた、張は美麗 を聴々と歩き渡つてゐたが十八日 受子(ご)ををびき出し主人の集金 した、更に一昨年京城に來て洗濯 五十組織を被領正版道方面へ逃走 然便に通十一番地そばで東食堂の **洋服その他を入気府内の各流衛屋** 田町をしてゐたが同食堂の女給尹 『城松月町磯彦星(ご)は五年前京

は美貌の張を廻つて常に触い野ひ

彼を譲る女玉人 ンフアン御用 横領してまはつた男

折帽子と軍靴を翻見、帽子の中かり中、人道橋の中央でうず茶の中の間組抜警田口信職さんが見避け日午前四時頃、京城薬江橋工事

部江原西の風場

『時頃京城張州通)/一を進行中(「*)――假名――は麒戯の倉庫から十二年中で、2月代の・十九日午後 | 沙田の・京城下往十里町金龗宝

最勝美に罪の贖いのため。1年の那一周日午後五時京城鐘路六丁目で京一夕並山郷の雕釜連端船に間に合は、「大連二十日同盟」兄玉鄭仲の歴 "こんるてく"元章三派間の銀 郷した、なほのぞみの彩客は廿日 「大連二十日同盟」見玉搴樹の殿一さんをひいて全治一週間の鶴

一般とタイアップ甘口、廿一日を防一般とタイアップ甘口、廿一日を防一

三人里労盗賊を昨秋より出級重数 夕で看物世帯中常に、大里労盗賊をよっの手先となつて親子 運動手に雇けれてゐたが、トラッ け数兄張明極」。丁俊名『と共に 用("o)は京城府内連送城トラック

防犯第一日

廿日朝府內

網にかくり月下服役中、二人で番 中親分たる父は昨年発問翌の甕成

褪第:日の朝御朋京城館尚町巣脚(仲間にグループを組織してゐる版)が一定地歌に鎖若した場合自然にの巷にのさばり田た搗街これも跡(驟された箭長は不良慮ちゃん選を)飛に徳承觀察の側所には轍に列猟

るた事が廿日朝同署へ採知され機

目星しい物

を助げて一般通行の狂意を促すとなしにしてゐる有機なのでこれら

罪悪を清算して

入場無料部開随量

勝美ける出所

分に過ぎず、他は夕刻から春風人 の中でも質問症説するものは一部いたものは二百ヶ所に過ぎず、こ

興果、百廿圓東等職の各部分から

釈都豊名に貢献させるなど事態顕霊となつたので差山智から書屋際が急行、五十一名の辞戦を破壊しを歴史、釈明せんとして釈称戦に摩止され、貢献した験王らはまギー時に役有、謎ガラスを衝域し 停留所に停跳した職、東窓から花記録りの観の脳悪色域器駆揺職工五十番名の一般が辞って参山巡行(姜山 7451 十九日午後六時二十分ころ参山郷東報道県行まギー明が花記察を譲続して参山府縣大里

交通慘禍續出

城、水脈の三巻晋内にわたつて一十十ち激動してゐる

南日京城府內六署を始め仁川、開|接な連絡をとりその趣旨を征信さ

主席者林家 "こほか四名を留置取調べ中

一の仇討双六

鉾先そろって既に出發

日午間十時間路通り取出内で架 農支配格で大京城を荒してゐたが 力を能しその大組分として大吉が 施といる場場で各自一数名の子

経験・運動手の思導等々、

/犯権大吉(ご)の

醉つ拂ひの花見客

高野森干春氏等に迎へられ市外船に水た叔井本城モト子魁政藩総称の、田首二龍野土長野縣松本市か内、田首二龍野土長野縣松本市か

即形務所を出て自動車で市内大内

防犯デーを實施

化時を前に一齊取締

航護士邸に

揺ついた、

勝美は

競分

電車に
鼠暴す

投石して負傷者出づ

やつれ気味だが過去の距響を清算

し、更生の容を担へてたな際酸の

防犯テーは既載の通り世、世一の「は野村和華職長を中心に各層と密・化時を前に終へた京藤道置祭部の「齊に驟行された、この日蓋総部で

なら何時でも一緒に命を指てるとなり、取調べ官の前でも張の罵め

間の原事は数于国に上つてゐるいつて困らせてゐる。偷腦の五年

釜山東萊電車での出來事!

指を防犯活動中の鍼路器員に御

廿四、五兩夜

で打切り、平郷から臨時列戦を特で打切り、平郷から臨時列戦は京城 が脱落し運転不能となり、約二時

| | の際で機闘性の炭水性のタイヤ | 一日朝の巡絡船に駆船の番車 | 中国の巡絡船に駆船の番車 | 日本の巡絡船に駆船の番車 | 日本の巡絡船に駆船の番車 | 日本の巡絡船に駆船の番車 | 日本の 内で開催する 京城角友會では恒例により廿四、 天凝宮角力

日午後十時五十分馬山へ廿四日午後七時廿五分入城廿二 全般天氣豫報

忠南北の風の役には霊流海(南東乃)初は頃、 用西の風情 鬼 南の風 晴

- 4.7 野崎小唄・旅笠道中 武 著 人 形 更の 郵、便配 鯔江 戸節めをと姿 花 お

花譜

、者あり御用は直接本店()、近時弊店名を利用する)

石用

質響

田楽 月 村 漫 数子

大館婦棋 幸輕 関でる三・ 本光太郎

天下茶屋の仇詞(198)佐 食 裘 民 傳 (18)







文字通りの鈴成りで午前中草

紅唇を破

総動不審の支那人数名か符合つ 京里を巡避中所里五九李鴻陣方にる十七日午後四時臨平襲歌章が終

心るので不審に思ひ取調べたと

満開は二十六日頃

花見客誘致に大童

と六百名に及び春爆漫の行

へ参山蔚山麓の東海南部蔵 「長真は公記運動類に花立てハイキングを試みる人」祭に惠まれた一日であつた

東萊へ野遊會へ電車は鈴成り

、間洪水の豪華大繪卷

せさしもの既き魔鬼も開館削削に 型十八日の朝霞に既し全生徒に向のまゝ反映して遊濤の如く押し寄 伊教を欺離する歴に非常に駆動しのまゝ反映して遊濤の如く押し寄

スとしてハダと横脳を叩いたも

質学で開催したが、世界的歌始の女性的な態度及び同様の父親を旁琰で去る十七日午後七時半から公一ける同様の淑やかにして誇りなき

当學校々友賢誠に毎日申報支局を が人態支部、忠北道教育館・丁蝶屬唱館は本社支局主館・ 清州] 世界祭山の名花

補州館に於ける配子響級理館に於後襲つて出騰したが山田原板長は

開催越子級献出會は愛如曾員等

て配され島女权では全職競炸

あれは質に空間だけに原配の火の 如く捲き退つた物度い前人館がそ一

はる孝心と年姿の宮崎富子機が無

めを喰つて数百の駱駅が最外に蔵し立趣の蘇地なき超速域で遂に札止

美人较生を出して茶葉の接待をな

し遊覧客の利便を踊るとになった

病苦の弟を

救ひ損ねて殺す

意外な眞相が判明
釜山の自殺事件

阿片密飲 星男素

評議員會で協議

不年度計畫も決定

神仙盛神で府内幹町河西氏所有の

質此のトキヒス姓七四〇屯に海外

つんほ少女命拾ひ

歌長外來鍼多數医院し、村上組合 密管で開催、道知事代型武田理除 会員で開催、道知事代型武田理除 大る十七日午前十時五十分から公 大る十七日午前十時五十分から公

里生れ住所不定無機殴杀大("i.

「春川」春川金融組合足時郷皆は

春川金組總會

仇を長崎

力資州法院支際援事分局から鑑。長嶋に販賣主俄を<equation-block>郷し十七、十世級川巻では殺人提査を開始、「大邱」県賣支局では菅内出郷所

開屋敏子嬢獨唱會

水装置を施せ

會商生修學旅行

春季射撃大震を順すことりなった日午前八時半から現井里射撃場で

午後二時から開催、長谷川組合長午後二時から開催、長谷川組合長

上機能手當を決定し監事及許議

皆分案監事の管見書を附編承接野があつて第十三期決算利

大同學院視察團

既を妨げ、能率を低下する

何では獨写僧間能利餘金十六回と

献金した(劉良はその獨唱館

親孝行の歌姫

我会に出るとか、好きな

1.0でありますが、物域も別数がありますが、物域も別数が加える戦が一般は、1.0でありますが一般は

















4吉な文字があれ

満人の心理をつかんだ獨逸品の進出

麦彩あり、職本支部長、郡守、職合長村上九八郎氏に對し道知事の り選出最後に役員十ヶ年皷職の組 各十名の選衝委員によって左の通

> 日辟校の豫定、日程は左の通り 内地修學施行の途に上り、五月二 十一日サイベリヤ丸で清津田県 | 熊将 坂口南教諭に引率され| 愈獨了 商業學校三年生五十二名

村上代の答評あつて午後一時間能一 銀支后長及び川崎助々召長の配許

泉婦殺

犯人の目星つかず 年頃の娘が謎の鍵

警に品商本日

邦品に意外な脅威を與ふ

品の御田に大きな脅威を製へてる関連品が質れ出し支が品と共に羽

九千六百トンを積取るため外船と【経準】断報、歐洲向け北端大豆 津を出帆

して初入港したデンマーク、ワー 4成職を収め、十四、十五兩日に 港以來國際連灣支店扱いで人夫 下配船ベルー號は去る十三日

かとみられてゐる。既行ではない。

四千五百トンの荷後を終へたので 百名が荷役に當つてゐたが良好 八日午後羅津出帆一路ハン 十九の蝦と我にさ、やかな暴しを かとみられてゐる。 【 8 例】忠北嶽川邑内煙草小蟹鶴 かとみられてゐるが、

るたが去る十三日午前一時頃

船の衝突 観事氏を必物で殺害逃走したので 世娘、緒に既接中何者から接入母

唐韓線川著では犯人提査を開始

原地事が同日犯行現場に急行して 八の南日本年度事務打合賣を行つ N不関で何等の證據も 万面に属するものであつた

張所長會議大邱專賣出

清州人を陶酔さす

し敗土壁は斯る市民の総社的歌呼 ので同様は自らピアノを奏じつ終っても糖素は去らうともしな 嵐の如き拍手を送る等感激的基面 | たソブラノの魅力に全く隣静して に隠へて連目の演奏と長途の旅の 縫の一曲を歇ひかくて耐九時五 製勢を忘れ精一杯に歌つて絶え間 か線服けられ像定のプログラムが

へを見事補

門搔痒 瘇 室南港の氷禍對策として 施捷丸船長の提言

理作ドンドン関下

87

ノマキ中野マサハル

く既に発身の前輩を支へるに無難し、上げた足を左右削後に総称きえるのは、足の筋肉が一歩々を動の足を宙に浮かせて衝子に腰を下 脚部が何となしに張つて縮みを登歩く、或は雨足を組み合せ、 少行の時で、歩いたあとで足事で、ナ艦して平行に立ち爪先で郵内を と効果能です、例へば剛足を穴、七

のある激振ですから、そのやうな

せて国を描くなど面壁で誰にも出

身體の疲れた時一番早くそれを

これを二、三十四行ふ事なども足の指先をつかんでカー杯引く一 部分が非常に禁になります

にしなければなりませの優勢をいたはり大切

よろしいでせう足首とふくらのし、また足の運動はいろくしあり

きすが人浴の際とか既腰間にする

試してごらんなさい。。。

かうして疲れをなほ

足で十大腿部の

イキン

クなぞで

好ましいと思ひます でせる。アンサンブルも小野快で

お引越しとか大格除とか、更は 間難な腹勢回復にはこんな方法が しこつて縮みを置えるそうな時の る疲労、火はが内にあつても疲なり実眠によって依使する労働に 運動、登山などのために脚 選合は充分に言をつけ

破 ह्रे...€ んさ枝久四大

またこんな歌もあります

ほで

物の歌気に深い顔 は乳児の健節は食

梅の林を分けくらしつと移り香は袖の内外にしみにいり

よくるまで書をよみつくしめやかにそば除る卵の音を聴きて後のら、浮んだまくのものです

から、私共婦人の趣味としては、こいもの 勝手や、破壁をしながらでも容易にやれる だと思わてもます。この教は成地をしなが

まつ沿用機関・関連・光開性型を めの補の中なりで十五六分足を漫 つまみ、洗瓶用アンモニャ小監 杯を湯でとかしたバックなり深 脳のあたりからくるよしの方

更に効果的で、前帝却裕の際にこれを行へば

スノコの上へ腰をおろし、豫足でツサージをし、郷い運動――でツサージをし、郷い運動――でツサージをし、郷い運動――とは人浴の際石鹸の泡を利用し、実は人浴の際石鹸の泡を利用して脚部全機の影解をします 滑らかにする鳥めにウッチ・い オゾのやうなものを療込んで、 ゼル、オキシフル或はメンソラ

やらに、此ふやらに、何十四も

なり、なか! \

と此液を布に浸して腫かにさす

ります。大内久枝さんはその中の一 朝駐郭宮赤進歌曹に婦人の方が三、 久後さんは元本府統計官で、蘇

世流の跡籠をしてゐる大內澄氏の夫

で、試號朝鮮カラーのはつきりした歌を認人、熊本で認行されてゐる『國風』の議友

子を刊行しましたが、年が過ぐるに能力 「「なとして、泳むことが出来るのでといふぞうだ、一寸したところを繋 一昨年第二萬女四年で長女一覧」

主人は、役所を退いてから返って信しく 歌は出来ませんが、それで

子浜大人を育てたのですが、それでも以前も心がけ一つで駆は作れるものです。私は は仕舞の稽古をやつたものでし

きつな打断ちて音子は適り

(四)子宮の不正状態を来すか,又 歌を動ける (二) 服子旅進音の際す、例(は (一) 搬発な服子の鉋 これらはすべて動物質袋の結果質 は受胎を妨害するか、交は胎見に とないですの。他 つてあまり **趣歌が不完全となります。その他**

脂肪攝取の 量を減じる

の懸化を來すものだといってあま

婦女子の身障 殊に服巣に特殊

るますが、レールが氏及び

築養佳夏の

て非常に低

よりますと、発音に

養不畏と同時に、縁食したり、

れてるまずアメリ

に婦人の多くは月經不順や月経停 島に殆どが祭巻不良になり、 の観乏に描まされましたが、その オーストリアの南國民は、食料品 **進延したり姙娠率を隣じたりしま** また世界大戦の當時、ドイツ、 起状を疑します。流産するから域部病の

クルャッラ

アッチカラ

1)でした、そのために 出版率も極めて低く、酸に紙版 たとしてもその多くが定感し 居ります。また折角 ロリーの不足が 蛋白質の缺乏 で表れたものは

幼兒番查會

健康な赤ちや **ん申込下さい**

今から正月まごはブラジルの北で 節なのです。バイナクブルにこの

☆南アメリカ……バイナツアルの | 乗れ古男より、年の百姓の今の身

くんば其方にも奉公の苦労をさせ たくない、依つて止めるのだ。 の楽しいか、なるべ

六日の割より内々何

M23

女學校出たての方は どんな洋装が好ましいでせう X

と云つてもウール物のスーツ。そ、カートも心持ち短か目になりまし い若い姿を消してしまひます。何」た方が、姿がよく見えませら。ス ぞみりとしたアフタスーンなど。が少し下つてゐますが、女學校出 の方としては、少し高目になすっ エア今 年はウエストライン 一能は慕ってよろしく ようしい。 口でいも、どちらでも魔つた方が 速りですか、これも好みでせう · 禁 元は依然として高月。

補付でも触

になつた方がよろしい

篤良は右ハーフコートに答な刺

した態はお婆さんとして、お述へ なかいませったいあまりこで/

Ao 女學校出たての方はご自分の 式でもなく,ロマンテイクでもな

が今年からはが見霊宣霞と敗離し

お母様はお申込み下さい、例年は からご自慢の赤ちゃんをお持ちの の愛知豆城幼稚園内で開かれます

前一年以上から南三年迄のお子さ

まを分けて筆査する事になりまし

ト 今年

で自由な型は見られませ

してスタイルとしては、強い国股

11色 白が中心で潮色。そ

に受けて居ります

社會事業協會後援の幼児策立會が

を召しては、妙にそぐはなく美し

て女 學校出の方が、いきな

れに同じくウール物のワンビース。たが、これは青丈の長い方と鬼か イトな物とゆつたりした物との二しく、特に、若々し、資剤さの上 聖色でせら。スカートの型は、タ い人によって建って來ませらし 必ずこの二つは取り入れるとよう は刺繍とブレード(さなだ紐)で 今年の洋波で見逃せぬの

ピース(東京銀座・校屋・牛山左はプレードの應用をしたアン



謝絶る際にも参りません、武士た 大石殿のお歌めに能ひ主取りを短 こ

てくた

るものが否を二枚に使ふは恥辱こ

手則も一度は然うがへましたが、

「ヘイ、お叱りでは恐れ入ります、

で奉公するとあつては、いより

れ丸胸の話しさを押へて された菅野三年、それとは明かさ

父の七郎左衛門から思々と意見

いぢらしい許嫁 萱野二平 (8)

悟道軒圓玉

演

「イヤ三平、其邊は心臓数すナ、 の上もないことにござります』

安離队床が必要で職置なるものは膨腰袋の厳法としては光づ第一に 本田博士 二世の主人は取るまいと約束した

セントといふ類の毒な財産にありいので死亡等は實に甘ハバー 原学列(滲出和破裂)やサルチす、交響師の音が範疇としては胸 丁」等の胸部逐介も必要でありま 館温後の吸収を促進し定群は刺戦 は水分の部取血に食品を消退し あります。適出性助発炎の場合に 軍にこれのみにて治癒することが ゴアンチフロギスチット ゴテラ 心胸部に敬語の所致は、エヤホス

食物の關係 かも

つの學説

は實験的に認明さ 無の膨縮が如何に重大なものでき、像をもつてゐる事 こくにおいて、金物による砒酸有 るかいわかりますが、右の如く続 等は機師に就き治派受くべきで弦 ルシウム競等の注射が行はれます ル酸、カルシウム間、クロール

不良の節女子の船・塩みします、食物は外では蛤袋県上りますと、臭宝・蛋の回数を少くしても同路船線が ます、例へは後者の場合では、上動不足の場合も経続学が眠くなり ことが出來ます。併しこうかと見難さ 美食の結果脂肪過多にに陥り更に 音のひどい中に生活するとか、進

インドのカラチ、アラハバド、ボ 女インド……空港の新しい設備

「オ、。海の意見を聞いてく

七郎左衛門館んで

物を循取する時は、統兄が総官不 好用報じ、は備のものです。総館はイタミンの含有量の好、在 互能は総主義し、は備のものです。を館ははイタミンの含有量の好、在 互能は総主義し、は備のものです。 夜間飛行に便宜を興へる設備や無 電で方向の割る設備があるのです 楽華を為たいと申すのか』 『これは怪しからん御一言、何し 其方は不思情と言はれても一身の一「コレノ」をでや此處へ来い、 でも立脈なものだ。それとも何か 致し方はないが、 触までも渡人で 終ると言ふのであるから誰に聞え、か、イヤ有触い』 一枚の言を使ったと進張されても一

れからの、暦を持つて來てくれ、

一部のは主取りは鑑念めて家の職 て私が一身の豪華を望みませら 『私の考へには、父上も以前は五

文スエーデン……狼と馴鹿

イと父の意に 一年は不審しく題び、

れると触んでイッノくしてゐる。 あるからと狭心して表面はハイハ られる身ではなし、盗なきことで | 街醴となれば逃げ出さう、無垢の と処職する日取りを見るのだ。 「お炙上、なんで……」 たが、一方おそではそんなことと 少女の操を殴つて、生涯深い遂げ は知らない。庶と三平と夫婦にな 「なんでと申して、其方とおそい さア三年弱つた。然しいよ人 そのうち、九月へ入るとモウ七 從ふやうに見せて居

そでと夫婦になり、俺に安心させ、承知が出來ぬ、其事は思ひ切つて いる関語だ、麻園島間の選里に通 一大恩を打屈れ近頭の行跡はなんと 代は以ことと思い生の文とで態度が声行きの類ひは | 喜ふ犬侍の大石内蔵助、その肝煎 ひ、亡君の命日にも精進もせれと 一旦言いだした以上は青かぬ第 氣味佳良にして服用容易

2. 無副作用性にして應用安全

で紙包と書能 のンニクマ 插

斓規 方定



出下 一排 単 劑鏡 日去 20 夏鏡 50 30 十大 1,00 .70 錢人 2,00 : 35

子供も喜んで服む連線服用に適し女

で他劑の如く中毒 その効きめは確實 率は九十五%!

クニンの排虫

見よ!恐るべき 蛔虫の寄生率を

人中

町本橋本日介東・店商吉友郷築 社会式は、町佐道亜東阪大 ・呈送代無「虫蝎いしる恐」子冊

城

明鮮國船株式會社

(大型市) 2 本の (大型市) (共工市) (

BASSA TA 全國有名文與・紙・百貨店にあり

被变为 火发子导取 趙 齐 语 追

統社債の發行

かくる汎米が和密線であつて | 任京都府知事 | 鈴木 敬一

任鹿兒島縣知富 中村安次郎

任熊本縣知事際問

國有財產法近~公布

施は明年四

出清氏の北海道是官聚轉に伴ふ

につき盟職して同廿分群去した

名の米は有の記録を示し、

移民會社は總裁制を採るか

棟居審議室事務官昨日歸る

が記了しない歌があるので、五月末だ本田温麗誕との間に細目歌定 一日からの實施管定は多少要れる

> 八年東大場法科を卒業、丸山磐吉 保安態長(戦性)から朝鮮へ輸出 今度の官界大英動によって整保局

> > 五月三日の畿選聯を整ヘてフラントける猛烈な選挙戦が象形されるに

「バッ十九日同盟」四月廿六日、

佛の總選擧

ス政府は緊張を見せてゐる、目下一至った

地方長官の大異動

聯盟成立に對し重大なる職

は、湖内相野住以来能動の解説しとも見られるので内勢省自続市に他めて原質の態度を以って東京電話一定上北海道検算を始め入名の地方長官の患退に伴ふ地方長官の大戦前に歸して

4 時次 任社会局保健部長 北津東大郎 活水

において横内棋、鬱磯水質が転移館に総語と行つた語来、左の組く内定を見たので廿一日午で盛み、過艘来荷内相は鬱磯水陰と巣に総語を重ねてあたが、二十日午後八時より内相鸞脈

に結果、左の如く内定を見たので廿一日午

在静岡縣知事

質三一任北海道土木部長

期十時から関かれる定例配臘に附臘して正式決定競争することくなつた

RESERT 宇宙電台場際に発電機能に関する。かれて高速度が認識によっ、初年度にる十一年によくとつた。 「中国教育第二號中朝鮮總督」開係領算として提出、その贅成を得示してその諒解を求めるところあつたが、この程大體政府側の承認を得るに至つたので、倒立や終 たので、宇垣總督は上京以米廣田首相、永田祐相及びその世關係閣 に同案を提供行して、釜山附近より京城に至る新線を増設すべく計畫中であつたがこの程同計畫案の併行して、釜山附近より京城に至る新線を増設すべく計畫中であつたがこの程同計畫案の併行して、釜山附近より京城に至る新線を増設すべく計畫中であつたがこの程同計畫案の併行して、釜山附近より京城に至る新線の配置より、かれて高速資度調査に配こて釜山京城間鐡道線路に 政府が我國との通商係的問罪を通

市國の權益を侵せば

る態度明示

重大なる關心

野に耐する出来中立職所動物業が「金融階の方向に動きつくあり、東紅、出来を全部職類が、阿腊の動「職の北下」と呼ばて敵火局地能安は、光水を全部職類が、阿腊の動「職の北下」と呼ばれて敵火局地能安は出来の情勢は野運能が利爾 総領パルマ氏の営ふところによれ一ふのが月館と見られてをる、以上

見られるのは既ら世目されると、大これらの際には続めつくあり、共東軍忠策を行に全力に、大東軍忠策を行に全力によった。 遂に決裂 あるべく、帝國職権はいよい

| 関し部開金順点下程が代表単位症 の必要に関られてゐるが、大龍二 めつくある | 通真交渉は、二十日を見て塞に決 イタリー軍の人城を関に勤強鄙離 る態度を明 | 海田し族郷を願述されてゐた日度 で、アギザベバ歌調各國外突般は おいては・聖 | 四十日 | 四

り、従来の遠征行程より起源すれ。所の連番質質に関し東大願心を示り、従来の遠征行程より起源すれ。 はあると構定しつし、英剛計三國政の大の電方般四百キロの地獄に迫。 あると構定しつし、英剛計三國政の大の電子を持ち、大阪をもつて駅には、十六日イタリー遠征軍は十二位軍のアチザベバ人城をもつて駅によった。

で、アボザベバ炸剤各國外交騰は おいては、腿腕部園に對し帳篙たバ(入城職實とされるに至づたの つて健慰を顧るが如言ことあるには求る中七、八日郎にはアボザベ する帝國の概命がこの新事態によって有

を妨げんとして纏らず最近は決

製必至の狀態にあつたものである

脱衡をついけてゐるが、米だ最

方官異動は南州国人りする一部を 午後二時時間野記官長を訪問「地

除き内定したので、廿一日の厭酸 | 案を提工職を誤解したが、

貴族院改革の

決定した、帝國政府はイタリー選 静奈川縣警察形長十日中に外交際額額を開催するに 任北海道總務部長

官最際總統部長 任**裝視廳裝務部長**

任島根縣知等

任大分縣夘事

任警保局保安課長 脈極東殿戦の驚くべき態度と極果

任朝鮮總督府臺務局長

代した、國有財産法は近く公布された東上のであった韓国本所を議記されて、国有財産法は近日では、日本の政策議記

早々東上、 客里競社の機能その他 関島で経際中で棟馬事務官は五月 とにならう、 弾う神能会は日下法

聯盟理事會廿日開催

の資質類温散響協會のお願々が るだららか本品近ニューローク

国話交換手に至るまで▲ありと

ガール、実粧院の助手から

ルムエレベータ

母次の通りださらだ▲ドレス代

た既によると平

ムスメさん逐

○ 下着代配五十仙

して数百回位だ

政館は事直に和協工作の失敗を

メリカ人に就いて 既の傷物ではないこと

衣服費を決定し

【東京電話】 **貴族院**故華問題に觸 金麗記技しこが既ら あつたが、二十日午後三時二十分 - 脚を訓護した 納果を報告、火曜館の提唱に到す なつたが、各質派とも敗革の具能 に例食を閉き交渉説より交渉館の和南倉談は、二十二日犬々器宮館 きの公歸任 新貝課長語る

不可避を強調

十一時より公開館職に入り先つマ 帯はず事が担づて 十一時より公開館職に入り先つマ 帯はず事が担づて 十時四十五分非公開館職を終了局 年代没はエチオピア代没の認言に ナー にっかった かっかい とぶ社なる呼びを駆げた、アロイ

光五九二〇

を を なるスメさん 理報網に活動す では他 先七二六 來机! 此殿堂〈 TOP TOP

当宅にて逝去、 二十日夜添払町

||衣張其の他附願| |シいが▲これらの

は日本とは比較

の金を置してゐ

四

質委員會 十六名の關係委
翻編記に於て今 北に提案する識

が帰力に努力するものと見られる。 **3** m m

となったが、目 となったが、目 とれてゐる各方面 これが、目 ス使用問題に関するの指領に関する。

就職實例

とせざるを得ない

酸、眶に午後三 後零時十五分二

百廿頁灣進呈

の歌迎曹を納く

功質例確認の刑子、無代贈呈。 氏を開記、御申述次第、漫學成 の発表に本新聞紙を配入、住所

(日夜八牌死去) 帰瀬

米嚴剛查委與實

廿日北部へ廿

東京市進谷區

大學大学を表示に当四

明治神宮表參道

+

営殿英育の一本日とこき多者功成

調解は、吉田何で、高 なが、山下雲谷、佐屋示 では、松本芳家、松井 では、松本芳家、松井 では、松本芳家、松井 では、田孝古村

見各 本 進 本 呈付

三弗・武・司子一郎 大弗・郡年同四十 大弗・郡年同四十 現代書道に

脳神されてゐる

底と見らべきである。一つの思想

主義派成のための組織網の

トラーがこれほどの投票を集

新

戒嚴令下の東京から

儀

れである。われらの米だ響 に行動したのである。わが光輝

/ 御西下遊ばされて、臨國皇太

第王は、明治天皇陛下が、わざ

國の中央に主都銀倫がある。そし一後も必ず中等競技や大甕へ入らな「ちするかといふことが問題になつ」

省主義なりを、ラギオのやらに

のでないが、それを一つの組織の

と門階爾省に接し、層は内蒙古、

外蒙古は東京

キロ、人口は百萬人に溺たない、してゐる、面職は三百十四萬平方

つて来ると

··只、配の場合、六ケ年の略一やらにします。からすれば、卒業

梗へはなるべく多く子弟を入れる

反對に、實業學

定めらるべきです、さて、からな

要思想の紹介といふことは、それ

にはたらき家一間の人々も大分戦りかけてきまし

た、實際、中学から高等製校、大 らいへば九年ににし、つまり尋常 作の人々も大分判りかけてきまし て小髪校を少くとも八年、郷飲か

るわけではないといふことを、世にすぐさき生活の保証を與へられなど卒業したところで、音のやう

そこで、私の武策としては、島等 これは國家の一大損失であります

小學を國民政首とすること、

しめてゐる生 | 學と遊む者は、六十人の中一人か

八、九年の昼校を作つて國民は、

二人で結構ではないでせらか、そ

現化して來るのである。共產主

信仰となるものではない。これを れ。就数は一つの呼びかけであり るものではなく、楽まつてもそう

の組織の中に吸収して、その組織

の寺院とか穀煎とかいるも

の中に動かすやらにすることにも

不常に備

信酒としての信仰の様相が

宗教の布敦といふとを見ても

合が多いのである。 思想に動する

の度数や、配布印刷物の数量

は思想を以てしなければならぬ

の往人や紹介に熱心するとは、

らした干燥一部の方法が好く、騰の配作とか、維那の存在が好く、騰 心田開發と 織の西方にある奥安北省の河景園を設定の外電は、相も艶らず大男安 密境外蒙の素描 十古を貫く悠々たる原始生活 人元國發祥も今日夢

コルム)附近はアジア大陸に顕翠 ある、この庫倫に近い和林(カラ 金繋古人を支配すると共に、政治であるから風倫の活佛は整界での がある。蒙古人は嘲廉敬を盲信し 上でもその勢力は恐るべきものが

を思はせる事によって、充分事態 あり、旅館は都く園葉の全面に重」で畝重大陸を耀龍した底域。東古メンカを中。脚域地でれたもので「酢の地である。この大学人に織つタンクを中。脚域地でれたもので「酢の地である。この大学人に織つターとから車 依然機能を守り花々なるコピ(沙 人は設世紀世の溜り廻りも知らず

スクリ込み、可排地を占有して 家を確て農を愛み、或ひは簡に 家を確て農を愛み、ではては悪 職の間に射を踏み、今日では起 選上に年間たる地盤を楽いて隆 スケートと、そこで

である、風鈴人の簡地は火蓬に配 と自然に對する事業があるばかり れば経践もない、唯に天地の悠久 然るに

漢人種は臘の如 たるゴビがあり、欠侵電台があり、なの職権から提案口に建すった。 は教十日を聚し、離水の困難を 一部の友が住め、整備のキャクタ は服命のではないと、地のも無比利 をのなが住め、といい、 をのながはな、といい、 をのですった。日常その 間の交通も繋ぐ、程碑上、後去 上その影響を受ける事か多い、 他のは可ながはない。 他の表がはない。 をのに響を受ける事か多い、 他のはのにだんく上述づい、 で行へのは自然の埋法である。

せると共に、総理三音器額行自い のであつた。かくて外蒙は露歯を制門の虎に吞まれる薬地を作つた

九一四年、

に於て外蒙は後門の狼を逃れたが の翌年、直に外蒙と手を握り、所 **厳援助條約を結び、外薬の獨**

獨立工作に力め、歸來一切の準備 がに外観の自治を承認さ 場での状況を明かにする必要があるといふので、商工客覧場場での状況を明かにする必要があるといふので、商工客覧場場での状況を明かにする必要があるといふので、商工客覧場 は大倉蝎蔵技師長日重學氏を海外工登事館調査のため強

學ぶべき英國工藝界の動向

支索上國の代表は、キャクタに 支索へた、同時に蒙古は名目上 を良へた、同時に蒙古は名目上 を良へた、同時に蒙古は名目上 を良へた、同時に蒙古は名目上 れた一切の郷霊を旅記させた。 れた一切の郷霊を派記させた。

一概として、須く子の考へ方を演算 がわかるでせう。 髄「主義を打修」(をはり)のる先年たるは、この新聖神を好「毅然が関近にころがつてゐること」歌の総路が 都曾中心主義に陥りかけて 意匠の巧みな改善で

の栄養と整理に非角な等力を振っ 「美加工製品を輸出して、各仕向 天園は上下共に保守的産業組織」これを 産業 的の観點 から自園の 武波とせしめてるるが、この程所局あて御氏から英國工学に 左の加き報告があった

工業加工製品を輸出して、各仕向

中のは米だ绸、致、肺の如き

既に数年前から英國質殊|ブルの加き)の鮮明な色を配っ、 に赤紫は非常に鮮かな色を乗りるに能つて、文森の面積が減少す 知れぬが整跳の座がなく、自身の 先づ倫敦市中の服師品の流行を

小學教育は何

しして進むべきか

『偉い先生』の實體とその仕事

て、ためにその相傳の雕宅の古典

すべきでせらけれど、中華を十年 を算して居ます。しかも世の中で一つらに展理館のみを勝りながら日

の好調を示してゐる、市販の工藝 て來た結果、景瀬は次第に回しし

おこ於ては獨進の工器品に一歩の である、工態の理論を具體化せる 。底の敗落に類るより外に途はた | 相常強く行はれてある。 巳皇人を

然し陶器の如きは(磁器はこの画

加工品の意匠上に支那風の意匠の

なつここ 「どうぞ旅行をつじ

子の態みはそれよりも更に深い事事件を影んだっしかし、野

うである。二・二大事物に蘇して

伊國の獨身

これであます。慰問委には、ぜひイマヴー縁を!要來はイマヅで防ぎ、安心して御酬の矯に盡さします。 騎州にある長降さんが、蠟や南京虫のれます。 誘州にある長降さんが、蠟や南京虫のたます。 勝州にある長降さんが、蠟や南京虫のは、メスは勝いので今年からは、海川駐屯軍では、これまで液体激虫痢も一部使

兵隊さんしイマッ

てゐる。緊急腦の交換點,意腦內 みな後世への題り草

られるか」といふことを考へたっ

のがないからでする

と叔父六兵衛の前に聞き直つた相 の馬

にはたとはんの心からの御見 力で證明して見せて、天子標

常く消離されて來た今日となつて

つて、心田防災運動といふことが は心田函産連加への心備工作であ

するの要がある。

心田的経連動も、今後この連動の

期前の初め、丸山作衆といふ奇」ることであるが、遠く、長く、高」な変を飛載するの髪がある。

く、蒸配した膨脹に立つてこれを

まる、無動交替・平記戦が、三千

部うた酒は配っ、吹いた風は扉

後方の悪威は謎めてはならぬ。

十四年五月十一日の大庫事變を思

危機が去つたと断じ得よう。海の

とがありますかっないでせ 「日本は開闢以来、天子響が

「國民の中の一人の郷狂ひの

組織の完備に向つて全力を開出す のことである。故に半島における ては、大衆の指創数化は顕得され ひである。 これはどうしても一つ

べきである。即ちこれまでの運動 しょべき人で、「骨燥点」を組織 見れば、天下のことは常に光明道

してこれを牛耳つてゐたこともあ 骨があつた。わが國右系の艇とも

既に「いてゐる、大事態に當面する

でそら超非常時だ」

一些へ立つものは、 ちゃたる大日本 ドロヴィッチを下が、大津におい 帝國の皇容であることを思けねば一て、縣道書館の巡倉津田三蔵に斬

ひもそろつて蹴つてゐるとい

シア星太子ニコラス・アレキサン 起する。はる人、日本を訪れたロ の組織の中に織り込んで行かなく

国際し得たとか考へるのは大間違

新科十一年、東京の花は遥かつた。冬が寒かつたからである。大雲 | バルーケー 東京の花は遥かった。冬が寒かったからである。 表記に二、二六事件が起つた。 成語やがかれた。その政策令が即月した二、二六事件が起った。 を日本を、いや、全世界をどよめかした二、二六事件の暗示は深刻をのものである。 戒酸やすの東京はわれらに ささよし、な不実を戻べる。 哲正 | 事生日本 | の窓登を使われらに ささよし、なである。 現剤十一年二月を以て、『道非常時』は低によったのである。 現剤十一年二月を以て、『道非常時』は低になってものである。 明剤十一年二月を以て、『道非常時』は低いなのである。 われらはこの認識を以て類やかしき、新生日本の制造を破綻する。 われらはこの認識を以て類やかしき、新生日本の制造を破綻する。

懸貨附製品は蠅取粉の外に 泛香油 中門

學研究所

その第士に目を注ぐならば、あん

なに生々とした。あんなに豊富な

の輝く歴史を持つ 近取粉 は世界的

上に努力 に報ゆる 家選害虫 してゐま (す。この絶大なる御愛願 一種として非常な質讃を博 期してゐます。 し、家庭衛生必須薬とし

北部河區與總行
新造船 海東丸
新造船 海東丸 就 統 法国丸 就 統 法 国丸 就 航 平 丸 五月四 日 田 田 東 丸 五月四 日 治 東 丸 五月四 日 治 東 丸 四月廿四日 出 東 丸 四月廿四日

多大阪商船頭出帆 高端 響音響音

蘇害虫 今年る世ででで の驅除は

郷取粉別にある

門司基隆直行

H. S. A

雌は勿論をんなべる中でも

わけなく全滅

液体殺虫劑とは段蓮

以

*

指サットを

有に店類國全

期勤業債券 附廿圓(一枚) 湖勸業債券 湖廿圖(二枚)

は販販店に有り

(田岡新華田) 實施 1 61110条 高杉商店回汽船站代開店 四河市沿

織は非常な難態振りを示し、庶民 【春川】江熊道内各金畑組合の業

| 干九百九十八、世帶數四干 市华宋现在日日口調查 人口一萬八千九百四十三

特別規則を制定し

- 最は補謝粒を類似各局で取扱よが、ら関脳朝鮮間の一般な影異を創り配門の各地と朝鮮間の一触な寒電」なけ言うが診断局でもよる十四日を伴び延青、龍才、頭道海、紅巻、「膝文電影も取扱いことしなった。 【延言】開島日本高報局目揚げに 信三十銭・五字道す様に五銭項

害菌が浮く

道の警告に會霊邑雷局驚き

早速配水池を消毒

百二十五萬本

▲水筒管通は布銀四五九人の三、図、二宮三五〇回、女図二九〇人が綿鎖・、〇九九・紫紋四、八〇〇回、緑の三五〇人が綿鎖・、〇九九・紫紋四、八〇〇回、緑(一、二〇四人の1元%〇七に、と楽説されてゐる、電・

優良な郡と指導員を表彰

道では空悪処骸のため各郡膨縮に「大後五時涌津出戦のサイベリア丸道では空悪処骸のため各郡膨縮に「大後五時涌津出戦のされ、二十一日妻歌することになつてゐる。なは「利の兩軍曹が選択され、二十一日成都優良の郡及が指導設はこれを「除で最領中であつたが、羅南分縣成離機良の郡及が指導設はこれを「除で最領中であつたが、羅南分縣

住民結束して對抗

咸南結核防協

「羅書」無謝時口型帝面依律の漁一行って來た刺網漁業は類繁な婚胎

が暗

街路照明と豚小舎の始末が肝腎 傷地帯と住宅地には

敷地の心配無用

、瞬間の暗いのは全く間接

王都复复设

内科小児科

H

電本二八八〇世京城本町二丁目四市

八日夕極楽寺で初の戦事を聞く四十八名の戦事を出い、十は宮護平三郎山を梁田したが、十は宮護平三郎山を梁田したが、十四十八名の戦事を活出、戦事長に四十八名の戦事を活出、戦事長に

| 又兄約六十名||

學校交足實

● のない東本・ 「おりないない」。 中華五圓十圓で数~2 秘法郡~公開!!

花にさけがけた營庭の春

(書だけの農振

富局の拍車陣におもねる

デタラメ報告續出に鑑み

總代會

各學校生徒兒童、脐校婦人戲等参

窓房であげられた、武揚は路列の 兵、鈴木師鄭長、田中庶郷長、

七三聯隊の記念式

度出搬取はさつと八千三百、この「能職で使役に適し主に膨齢用としの職所、境識診出牛線短所の十年 | 三千頭の畑加である、歳北牛は怯の職所、境識診出牛線短所の十年 | 三千頭の畑加である、歳北牛は怯いなる。

今年は一萬頭突破

城津の生牛移出

成職優秀なもの四名は道公配に採し何れも遺立威與陰院で置加され

六日収益の受験 智信劍

地した、試派は

|男道也知(元)は先月下旬家

の留守中何者かに醸画を斬られ

半身黑焦げ

惨死

人氣は湧く…

花形商品!

で皆四二百敗十

1)

理受討念式は十八日午前九時から【諸南】歩兵第七十三帰隊の軍隊

年に一度の全断以行業日

(粉白厶

その その その

築へ シピ ッキ

料粧化早.3 誇を創獨

水産王國を確立

長新殖銀支店

羅津潭鐵

小山荒氏と決定 楽の運びとなつ 艦艇行支圧はふ 一日開店

火灰

美岗堂

桑原所長

五國城址探勝 探別語りした はとして朱乙寧長 を開いた。

後 ・五日延吉へ ・五日延吉へ ・五日延吉へ 科長 十五日製 ペン炎のおり具合 インキの潜波

三千圓の人夫賃 する

緊迫りの前山場 に取りかいつた 築新 洗う面チ 爾風機 **要**各 室 房共 瘎 笹山郵便本局裏

港ホテル 御食事 一選〇 サービス料 一側

御泊料 御人機の七五月 ## | | | | |

釜山府大倉町 યુના

归鹼讀本

いふだけで石鹼の目的を果しればりのない泡は、たヾ泡と ません。



川沿岸貿易振興座談

提携して共榮策を圖らう

お互に協力を誓ふ

勞者表彰

江華納稅功

各和税徴収成績優良面及税に開 江麓」題では去る十五日午後

N近知事, 京城府務監督局

んによって組織される小質人

各郡に二品種を配つて試験

致私は二十五歳以下の郡将年歌正 たが走路は十一里四町で各郡修に

26日午前七時生清州市街公

先づ品種改良決定

で官民合師祝賀堂(霞貴一園)「陰間のにより・コール日正午公館

・ 李遊麟▲ 連守、郡望民▲西島面・余泰崎「割査船に研究・同諸事業の後援艦」で超誘式を紹行することになった昭徳▲内甫 松▲三山面 李郎萃・奈治寰・孝 及敦宗に勝ずる思邦理及夏漢、同・蘇忠政との他有力都多數を指符し、本民道面 金鳳笠、池僧敬、松學成・載在 【清州】忠北道では貂疼病の後げ、鄭齢戯その他有力都多數を指符し採面(徐四)相、李熙睦、郭良久 ▲ 新桐面 米格下げ對策

の、一箇所三十四の就議委託手倉 が、一箇所三十四の就議委託手倉 が、一箇所、清道の十二箇部に配 を提外、永川、遠城、金果、 一日、一〇世の同 础の大々的収良を行ふことに方針版重版党中であるが、先づ水階品 を定め過去の試験で好成職を取め

て部館な八十餘名の分額殿が園醴 教助され牧の島ドックに入つた て散館した終り土室を放揮し ドツク入り

人権下で佐賀縣中川村岩川利作所【釜山】十九日午前八時すぎ釜山

(四八噸)と源災し双方とも結腹 一郎令に基く 帰産災の 加入に 皆居居本住太郎所有の帆船祭光火 合の語解釈光金祖寛金々利引 を破壊し危く難資を売れ曳航船に一る定数の懸匪説明があつて井上理

ついで現今金に別の状態富金原组合版上で開催を設定して明確を記せ合長の疾夢に 時器質は十八日午後二時から同組 【釜山】第一金廟組合第語七個定

の教育と宗教と信仰の三つが──手で成立し、學校剛では建築科の出了。金力 萬能の 鉱出で 珍し 核長カリ受けることにトップ・打 けもなく纏まる

前から文字辿りさくでかな大師堂

つて鑑曲へ編入された松島に二年

「事の素養、山田高事の龍倉報告が 十年度財産目録、賃借對照要、を証決して午後四時時間したを証決して午後四時時間した 【水原】昨年以来取郷め中であつ

様、申載益の爾氏の下に、水臓郡まつたので二十日頃道頭節処匿在た中等學校建設部附金は、愈よ郷

ので近く具體系は酸衣される形

築港擴張起工祝賀とともに

月初の選に記録させる計載である 数日中に居内上要幹線大連を四、 、蓋山、周では懸光であった市庫

を招待し慰労姿を備した 十五日午前十一時から大阪市場の

祝賀館を起工式と相助後してコ 衙二位國突破配費

繭三萬五百石豫想

投の揺立を突破し昨年に比いす の意気込みも旺んで三萬七千九 **『華山』道本年度の巻巻編立は昨一寸べく二十三日から二十五日まで「華山」道本年度の巻巻編立は昨一寸べく二十三日から二十五日まで**

し既に工事は公立職業學授の川島の御堂を建てる段取りにまで進捗

農脈陣營强化

特に指導員の訓練を徹底

慶北の新方針成る

慶北漁聯鰛

振興運動の盛化転感策につき返で「響方戦を協議して左の通り決定し」の数鍾訓練を第一とした歴で屢々【大郎】 木年度に於ける郷山郎若 | はこの智能事態を閉き直聴能に指 | たが特に注目されるのは指導験戦

を開催の話であるが開樺に脚延線 勝合館の本年度圏画問事が打合館

【馬山」狂犬撲殺を慰行しついあ

藤谷理事 最後に一言申し述

1川府隣保館竣工を期し

心田開發に乘出す

總會と表彰

本学版とされてゐるが、所では既一歌美具都既方法として第一にあげ 上華版院に細定語言の解説を置きられてゐる。 工事の観典により勢 上華成に超する動脈説化の第1歩 一個湖が酸々入り込んで來るので、 と舊久出してゐるが、解像館の鍵・之等の自由財産配差質が影響する 上華版に超に超に指定者で解説を置か影響する。

近く創立總會開く

思毒。古血の毒を除きませう

青年の趙帝向上を圖る高め五月十

忠北青年團

日の道内青年園大館開覧を接に耐

微問艦の運びに至る降線であるが、よつて微重磁管の結果や永陽級群目受視も大盤概まつて近く眺立器。 いで出音長の複選を行い脳解説に明然は、否 本金 五十萬田)は 念よ。附論しいづれも臓器を承読し、つ 山を投じ邑外曹通學校附近に動地 動質役員の表彰に移り事組合長に 西田等の養超で駆立能避中の紡績 て事業供算定気軽度、保護手質を成に、 「大層」 愛ねて奇得意三郎、斡旋、本組合長、嬰田珈事の接近があつ 同語化の外に更に某新翻が六百萬一合長を再選し無事語事を終り水年

文明 歌かであつた人が突然養狂して観り、一三日 然ヨイ人になつたり、若い続きんに祝趣 でで大夫に働いて居た人が寒。 をあらはす事が非常に知いのです。 をあらはす事が非常に知いのです。

員 整装器では左の日割

ればなられと、曹氏を置の職政権、全主市は歌楽の財場のなかに書きた。思し続は変解版の報び登れげ、戦闘が事工日間体化のあとを受け、と、と、「曹氏を置い職政権」の、「東京は歌楽のと決定することになつ、回避繁々として交前の歴況を記し

仁。最近起工式は経費的時の東南線 | 景々を展生行ふべく今年は

三日間盛大に舉行

されるが、所ではこれを像に~鬱

ます。 難ての情報 確やして、力を れ故此流症器を

多

量に配合した

はなほる

TEEL に聴くなつた配管の影響 気分は繋がになり、子紙も述く乗い部分を、今にも続れるう れいになり、既は聴く 骸げ悪に郎鹿も離れない線に、飢い厭 屍遊の凝り注解かれ、寒も卵もき mを強やし、其循り を実軟にして丈夫にし 新院代謝の作用 藥價

えるやらにたります。 重症用毒掃丸



の古いのは

らしたり、凝したり、密の果をつが発身にまはつて、静明方々を脳

くつたりするからです。

日本の一年間の死産は十五萬人

病氣と間違ひ易い | 150、二項、三頭と銀行し、海霰 | す。其他に祝蔵は郷山あります。| これは、初期の間に油新した | で、其内十二萬人は梅露のためで

梅毒は怖ろしいが 办 þ

主

こか、其他性の知れない映出物が

大田の保証に関いです。 神野系統主で売して国る物性が表でしたります。 神野系統主で売して国る機が、いた当つて、決して理なして関立なったり、 た畑地に製造館をよりかけるの 回の沙鉢で安心して異なった。 大陸がより、 市に高り、 南に おは、 他別よく、 信服のようであった人が突然を担して観います。 一時に高り、 南に 方はで、 微蛇的の治療を質せば、 なったり、 ちょうに たります。 一時に高り、 南に きれいに治って、決して理象した。 一時に高り、 南に きれいに治って、決して理象した。 一時に高り変した。 きれいに治って、決して理象した。 は 作品になります。

何より安心の出來る 變質殺菌療法

病毒がドシー解消して きもちよく 體外 に出 3

「白肥緑」はすぐ のです。複形の際に概念能配記を「飛に健康されて思ります。 こと、解説中にあ たほす方法を「整度設法」という。 置しいので、是新の簡単は、此歌、原物が人間の邮 出ように機能を要化させて病源を たほうには此方法によるので「港 貴重な變質劑と排毒劑を

重症用毒婦丸 で、では外に挑談しますから、程堂ので、野は間とれての汚動と共に便となっていまべての汚動と共に便となって、野に間で 戦としては、戦に理想的のもので

「面松用野婦丸」を服用すれば、

通音用毒掃丸 少兒用毒排丸 十四二十四三十四 三面、五面十四五十四 三十總、五十經、一、劉



マ羅疾患 旃

催化、 甲狀

擬帶東京 四六七番

一十日午前十時から仁川神社で観に仁川」府主艦の退営者奉告祭は

【仁川】都市の心田間發連動は最一丁、授産事業として家屋手工業が

念記年周十三刊創報日城京祝

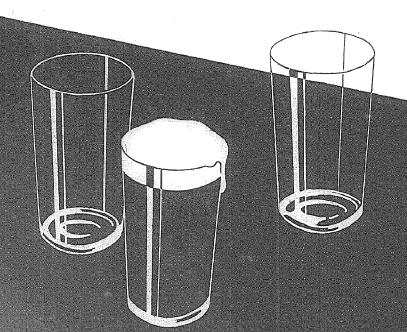


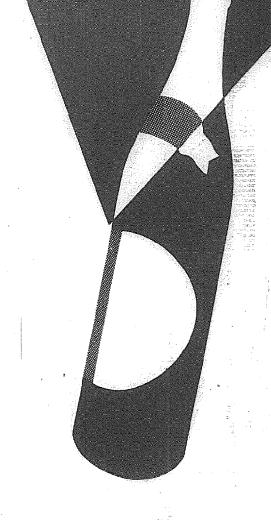
石鹼に良く溶解し、洗髮容易、優良な品質、毛髮榮養素豊富、

東京本館井



トウタスンリキンモレンリキ
飲清料凉





社會式株酒麥膦麒

ã

半島フアン特望の一戦、春を呼ぶ珠玉の

戦、あすひらく阪急、金鯱の血戦こそ

恢急ナイン

つか、阪急のスピード勝つか、見逃せぬ 半島球界空前の豪華篇、鯱城下の新鋭勝

この大試合!

原著の機動を封切るべく来述する この動物的な大肚巣に参加して半 この動物的な大肚巣に参加して半

こうな顕志で描ちてゐる

ラウンドの野球器にサイレンのな

いところから二十日連動員に監察

ある花塚県校泰和女子諸校長年の

在線製技に怪磁――京城仁寺町に一立結果を見た上で具能化すること

山下ら超弩級

學校に泥棒

月下旬京都で開鑑される臓器の武立されることに決定したので、今

出發す

既に工場を二棟新築中である

10

十三の花嫁に

はわられ質問した

夕六時半年京城光化門通りを旗旗

纵

東京

桃屋發賣

刎られて負傷

せんとして京九二八五號自動車に 泉城内部町李佐女ごん(**)は廿日

野球場に

サイレン寄附

村上置マネーデヤーらに引率され **财命军继事案指長、三宅大韓監督、**

揚々梅田騒を出越した、宮武・ 語音多数の見送りをうけて、音 下、北井の阪金三統士初め選手

へて壁図、野棚ひの上冊日夜に木

主荷維達氏は大の愛塚家で京城グーことになった

人の阪急車選手一行十餘名は、十

九の南日名古屋でも試合を鉄

京が開町二ノー〇ケルドネル西部 愛珠/家の美母

の襲象監部原野競争の使用する。著で扱人戦者中に対し、十二日の本地主席全部提供、同学を手が課題、展出なの作業等に対し、同学を手が課題、展出なの作業を行ったが、十二日の本地主席では、一番で扱人戦者中の表

機能であるため、結局に抗が實行を算を持た中ので襲行力の作は由 施設計画の促進指導に努める以外 全日本の観光協関を統制、宣傳、 にたつた、日本観光地聯盟は大器

の登録単板変数でもの花割を大気高級の影響性は歪められて下三般

たが、浪出され、殿ヶ月別代氏方

調金指輪一箇を失敬して到路署

死別戦りの父親は女狂ひで母性要

から遠ざかり冷たい家庭での邪魔

黄金で」「個名」は九歳の時母に

京城鄉上町一六六林姓女方服女科

サイレンを寄始した、府廳ではこ一私の抽斗に入れてあつた現金百個

東京船下における茶器の最初のも 三井島公男邸の茶品「如龍」で、しいもの、その一つは豚布今井町

のであり、織田有柴(信長の寶弟)

正際院に當てられ、四外一通壁校に寄始した、日本には『花一なった

と對し、機の必四千本を道内の神。百井彼にそれな、分配することに太郎氏は今回是後道木野栗跡閣長。京坂を除く東京道内の普通學校二

地面委員を挙げ、既に敷回の車備 京坂都市計量が完賞と後援の京城

と地方からの申込みが殺到、智目 消などから申込みがありなほ際々

宮殿中

鑑の構成者単点都計委員会

士の世三国忌

日間間ニ十一日は日

10

たふく製綿工塩

夜失火で全焼

雪で一足先に日本観光地騒乱が脛 | あつたが二年前に最愛の宴に死肌 原能する語であつたが、観光局提一業しい家庭を作り、暮しも俗かで

してから世をはかなみ、殷臨しは

じめ、自殺した常日も家財道具を

| 置に入れて盤郎の上編化を発げた|

脚なくしては見られなかつたの変態が死體に弦崩れてゐた姿は

の朝師観光協復は近く設立總額を 上鮮の観光協関を打つて一丸とし

二年前まではその実長交親三人で 見、東大門船に配け出た、配入は山で蓬死を遂げてゐるを村人が翻

施設等の事業計選を帰行す

損害五萬圓の見込み

れる朝鮮が市局と随意は主職者の

。 めとして戯興、

至州・

戦衛浦、木 | 日記读の軍隊を宝華に向けて趣す が出すれ名、仁川十六名などを始 | 住娘廟もあと同日に近つたので甘

ることとなった

一百を越え 開城出一名一般最大る野性、原は江葡萄の野で

圧縮で開催さ

會則中各種準備着々整ふ

全鮮各地からの

参曾

し題つた二人組織盗事性は、貧局部内にて一夜のちもにアクラを

折しれストリアになってあたの 丁月変叉郷のゴー・ストップ船が 六日慶北尉山 | 逃げるので追跡、幸ひに黄金町一 慶北蔚山署のお手柄

金権を職機として十八日来明王烈の諸順により、児監として用いた

観光に

内鮮手を握

内地は下旬聯盟創立

と見られてゐたが、その脳の別

迷宮入りではない

十九日夜共犯泉來即長安面金守奉 路山郡湿騰而到科一犯為外甲(元)

B

山下選手 急

年焦漢優待などの場となする。なほ館騒響的などの高しをする。なほ館騒響が

1 電話 廿日午後四時五十五 温を全域而六時半額大した、田大

原外宮川郡が朱面長高里 と同時に消防隊及び青年殿が出動

機成行二萬五千國、建物五千國

總計五両当で、保険は機能火災に もので、環路は商品(駅)に英間

バートから寄贈の記念工産品を「網帯器基から継火、水館と建織器」急の如くならず途にを婉となつた。特色典(があり) 所内各商服 | おたふく線磁域機能に用工選の打 | したが永利の便が張くて羽火作業|

| 被黙はなかつた、厭愍ははつきり

つによつて選択したものと見られ

川著で取詞中である、同て基は

しないが油の腕係から機械のまさ

以來初めてのもので何れも由籍正一智通學校の校庭を

ちねた――京場南大門通り無難久、弥翫長は大いに残び、早遊旅衙しめようとい去麗はしい戦みが全任(陰させたいと自出たので、木倉県めようとい去麗はしい戦みが全任(陰させたいと自出たので、木倉県普通県政の核壁を掘の花で埋めて「は標木、人は武士」といっ遠かあ

置に指定されたが、今尾のはそれ

原属太郎氏所有者草庵が先づ園

旬の薬器では昭和六年航海三部織は個人所有のもの二様で、個人所 理定機れとなって居たもの、薬薬

校庭に櫻を寄附

齋藤久太郎氏の美學

百廿校の

岡山市外の松山城と共に従來

警中地画で

質建造物に指定

何れも由緒あるも

松本城」は「赤山元年小笠賦氏の支」本堂辟計師に寬語をかけ、歴慣百年天主と選閱櫓を建すのみであり「墨袞訓練金邑烈が本町一ノ四九日

銀接調整金高熱が本町一ノ四九日|聡主した、東大門圏で個人懸電中|金豐旅館投資中の自新楊平豊通|旅館主に見せるとて前銀け行方を

四十個の金時間を持つて張させ、

ハルピン郊外の落と消へた機一節

瑞山の風流

富豪宅へ押入る

山郷聚安面富豪率忠升氏方の大門 【大田電話】廿日午前二時思覧瑜

際一濃間の傷を資ふたの自聴車に衝突息東君

東大門署で犯

人搜查

井戸川中野が楽奉列履することく

た、東京より開総士圏都由々長 了るので午後四時より大義寺にお

つきつけて脅迫、手提金庫より七 慢中心がを照し、雑焼様のものを

西野糸品店

(學則送呈) 大連自動車養成別

市局8935元

孤谷町二丁目

東東北北流六

百三十五国族を監修してこのこと

今度の

都市問題會議

こよる

孔後、新次成修編薬されたが全で

左衛門安定の発滑と除へら

一性のうち「大垣城」は天文四年

・見事なものである。 加して城

お城と茶室

尿幾道農務課

酢酸は各種目にわかれてゐるため 郡大成職をあげてゐるが、この品」改良する必要ありとみて山本殿務し合計機話敷で決定するもので、 後選等の各種品許額を行い を注ぐやうな傾向あり、かくてはることに決定、今年度からこれを

|都震奏では一個目のみに致力||この暦||魔奏の無登日を戦本とす||その成職は各方前から街目さる時は各個目にわかれてあるため||郡投を中心に案を構つてゐたが、||演書局の副部館の戦矩艦戦員で、 ので、京慶道経跡跳では品牌館をの一年を通じ在配目に亘つて採船 | 脳家に不完全な膨脹となるといふ | 實施することになった、即も農家

たが、人間国茅嶽草服の古建築で ある「卵乳及び腫卵薬」で干利体 茶職三種三のものである。交社寺 の所有となり、現在の地に終され の好みと際へられ、意匠等は役か の捕獲されて居るがよく古趣を存 性は京都市東山高麗寺の境内に

宿屋で籠货

られ、明治中期数洋社の平陽浩氏

計畫 學校の先生と稱し

家出、いまだに行方知れず二十日二男の妻金氏(『**)は十九日午後七年||家出二一件||京城絵町大史譯|

週刊にある八幡神社境内の本殿が 名古屋城天主の先驅をたすもの ので、所謂聊立式天主の精写の例 大小天主は波橋を以て整くも |当にឈ合をみることくなつた、こ | 日戦権に位義されてゐるいよく \ 劉誠邦の手を離れ近く正 | 選続財権席では十数名の 一ることは膨嚢した通りであるが、 所以機能による京城府智能政の増 選に関して本府で選擧便法を設け 近く一般合さる

後文磯年間に石川立客光永が大い。 基婆、1...)は甘日午前十一時頃 を記述石近泉茶の前紐といはれ、「夜西大門場に保護を顧出た。

に増加し近回遊びなぎ名城となっ

京城府を、整府城へ一島)水谷浦れたよると京城府十五名の増選は を履行するが、他區域の候職部に 選撃 (三國) 東南(三国)西南(四國) の四島域に分割して、一島五名 | 国四名、| 一国三名、四国四名の

選挙的帰院では十数名の原質が建築気の常日になるらしく、「最城府 日温楽明日は九月二十三日秋季皇 も投禁し得ることに決定した、



武閣僚るるてしと窓符を水山 展個伯請原榊 三らか日一世かけ 北辺閣の (共通江政連盟) 位施程 の氏、監除十七數製品出、総附代附神水上遺伝本即日 るてし連載を會來の能一、るあでひ譜作がためこ嗣程 (假説のそは資意) 料無損入、る

「でかきタッな

W

満洲爵士の本校の宣纜を見よ

合格率第一位

、新宿舍完備 過對責任政授 收料書支給

自動車教育機關の最大權威

制服制帽支給

、治則寫真關用 城青面料 學為一

大連目動車株式會社山縣通營業所內

趣與呆而付

や、人の温盗侵入主人を部屋で より開門を迫り、家人が朗門する ■の いひ、変日的人域し低電影で三十 組合の 野とは真赤太陽りで、瀬洲かくり 組合の 野とは真赤太陽りで、瀬洲かくり では、ついで、東京大陽りで、瀬洲かくり いい、数日前人城し傾属書で三十のテキ量前科一犯中間國光(こと 士原国を集め密則に費消してあた 一代の原心や銀行を訪れ、三百二 大連廿日同盟】罪の活算に 出所した勝美 更生の道

で 博士夫人勝美は親ながらに左の如 の形を終へ、 計日朝出所し大連市 く謎つた

山本家 家具C御

同用のは

花柳病專門

ド 店 手

※ 京日案內

麗し飲むな城モトと自務して

一人組頭盗捕

した

白桃、 枇杷、 黄桃 西洋梨

大言樂學 校 下谷區 選◆規則署要認得

女に「民路集小館・五成上手紙取品用宮崎町り」の十八次までは原語・日本・日本の事子紙取品用宮崎町り 告に限り特に豪国にて掲載す。 会が料金は別例の事山就職職 国五十銭服名は一回将に五十 国五十銭服名は一回将に五十

常語本篇 | 三二四

職人 (北南納入腹部経濟日 「新内爾斯一丁月 南光一六一三 新内爾斯一丁月 南光一六一三

フルーツサラダ

柑

| 日本人来語 | 日本

熊本一三大八階

JAPAN HET WEIGHT

名 三然作用文字以相答 前二十一四八號語本凹三〇〇 前二十四八號語本凹三〇〇 第二十四八號語本凹三〇〇

産金町二ノー門

Peaches

MOMOYA BRAND

東 山町一ノ一八 液 建 のにて三十回位の二 次 気 家村郷より一五丁以

鳳櫻

店にあり

自金 融 で長期に朝日立該しま の都方の時至迅速に 低利に官公皇宮前側 三 澤 商 曹

^筆無代進呈

東京文化普及會

后城所留大門通二丁

府外總是面九官是五一一部雲 老父の嘆き

交叉點でストツ

が廿日午後二時頃同里の

唐西の道明れ後登り け ふの 天 氣

「ルル」の女將に領んで

悪良な薩斯が、其の時女けは本

併しそれも、智美に逢つ

四の語の上で達ふことに

二流争弱血

はそれから芝居やカ

子供のやう

呂 木

9宮心田さないで、 凝痛は時

染ま、手拭(こ

御殿をあげて出て行つた。併し彼一億崎の心が次第二葉んで果た。

同七時三〇分(京)

は腐でとりどりの喉をしてゐた。

同七時二〇分(東)ラデオ競操に做ひて(二) 岩下 壯

(四) 東山順太郎 中前六時三〇分(東) 基陸帰語等 一分(東)朝の修養 型丸山順

(火曜日) 一日番組

所金 (12 分) (**5**分) (2 分)

金易二郎

勿論是非の判断はさて於てたよ

の順に角頭の弱勢を細つた手が君の五二金石と指して、四

尺八 田中 松露

の手へ方 刷上萬年青

100

的に改善したい事日常生活上衛生

は意事項に就てお話をいたという。

人団な事例でありきすが、 實際に

が多く題はれて来ます。此病は非を過ぎた小見に一種特別な下痢症

てれで私は産乳の事をお話して次



極と選理とのよいさと二重帯 たてまつるよ、奈良の合都の 廿二日さ、物

〇時三〇分(東)

本紙一萬號記念三千圓懸賞一等當選 蒸簸斷上渡晚

富田面面所會

元山出航 代理唐 蝴鮮運送支店

路案内書御送リ 実賃客船ニシテ ・ 国館、小様

(船屬) 船株式會社

大阪商尚法式資工厂川代理店 株式倉田 題 田 郡

の歯磨呼吸器を丈夫に 電話四・二番二十一番(不出)二十八番(現底)二十八番(現底)二十八番(現底)

心衛生ほがらか

伏木直行、紫調、酒|

近代人の魅力は 香り容器のスマ ブリデナル

香水 の一滴と トな形に 定 價 小 瓶 0.50 中 瓶 1.00 大 瓶 2.00 特大瓶 4.00 韓形瓶 1.20 Priginal Gertume

帶尚 至優 考へが集中しない 戦見だ 我れ年ら気があせる んな時に 御注意は80年 不足事務は受付される本 舗 安藤 井 筒 堂 最品 係 宛本 舗 安藤 井 筒 堂 最品 係 宛東市日本情風水天宮町 0000 封入の上空筒壹個と参銭切手壹枚御買求めの鱈オリデナル小瓶 進呈方法 本 鏡 雖 安 藤 井 筒 堂 10

神經痛、ロイマチス性 對する

解熱

本品は安全無害にして而も副作用無きを特長とす。 名せられて一りに御注意を冀ふ。(説明香達呈)お置い求めの際は、バイエルアスピリンご御岩 **産業界に貢献せる功績による。** は四十年の永老に亘り彦冑、蹇痛治 ではリンが有する今日の緊責は一朝一夕に得

鎮痛

劑

ル十字」は信用保證の標示

» Bayet «

35--- IS98(O)

湄

三流

BAYER R

粉末 经国际证券公司

+